

# 完全学校週五日制の 影響及び評価は



前野 浩司 議員

**前野浩司議員** 完全学校週五日制が実施されて、授業時間が二割減り、また総合的な学習の時間を導入することによって、各教科の時間が減り、読み書き、計算などの基礎学力の低下に対する懸念があった。その後二年間が過ぎようとしているが、本町の小・中学校の学力の状況はどうか。

**稲留教育長** 新学習指導要領が実施されて、二年になる。学力の低下向上の判断が難しい点であるが、各学校四月に標準学力検査、前学年度の学習の理解度を測るテスト

を行っている。小学校においては、各学校とも全国平均を上回り、さらに前年度に対しても、上回っている。中学校においては、一年生が上回っており、二・三年生は若干下回っている。現時点では、著しい学力の低下は見られない。結果を踏まえて、各学校で日常の学習指導にあたっている。今後も学校の実態に合わせて、基礎学力の定着に取り組みように、各学校を指導していきたい。

**前野議員** 心豊かな子供を育てるために、土・日曜を利用したいろいろな学習活動が、それぞれの地域で取り組まれている。活動のなかで、食に対する関心と感謝の気持ちを育む「食農教育」への取

り組み状況はどうか。

**教育長** 完全学校週五日制が導入されたことへのアンケート調査では、本町の子供たちは、家族とのふれあいが増えてよかったと思っている。各地域で田植えから収穫をして餅つき大会をするとか、この他イモ植えとか、地

域で特色のある活動がなされている。子供会や地域行事にも積極的に参加し貴重な体験や世代を超えた交流により、地域の温かさ、優しさを学びたくましく思いやりのある子になってほしい。今後も親子一緒になった体験活動を支援していきたい。

小学校でも充実した  
英語教育を

**前野議員** 本町ではALT（語学指導助手）の活用がなされ、生の英語教育が中学校で実施されているが、小学校でも総合的な学習のなかで、ALTを活用した遊びの英語教育が行われている。もう少し時間を増やしての充実した英語教育ができないか。

**教育長** 各小学校で、総合的な学習のなかで、国際理解教育の一環として、年三〜四回、ALTを活用した英語に慣れ親しむゲーム的な英会話活動を行っている。外国の文化生活にも触れるという目的である、中学校の英語教育の前倒し的な教育ではない。今後も、小学校段階にふさわしい英語教育を行っていく。



「稜野地区彼岸花まつり」でガイドを務める地元小学生